

「在宅医療連携拠点がめざす地域づくり」

～地域の特性から

医師会・訪問看護ステーションの取り組み～

平成24年度



平成24年度 連携拠点事業成果報告会

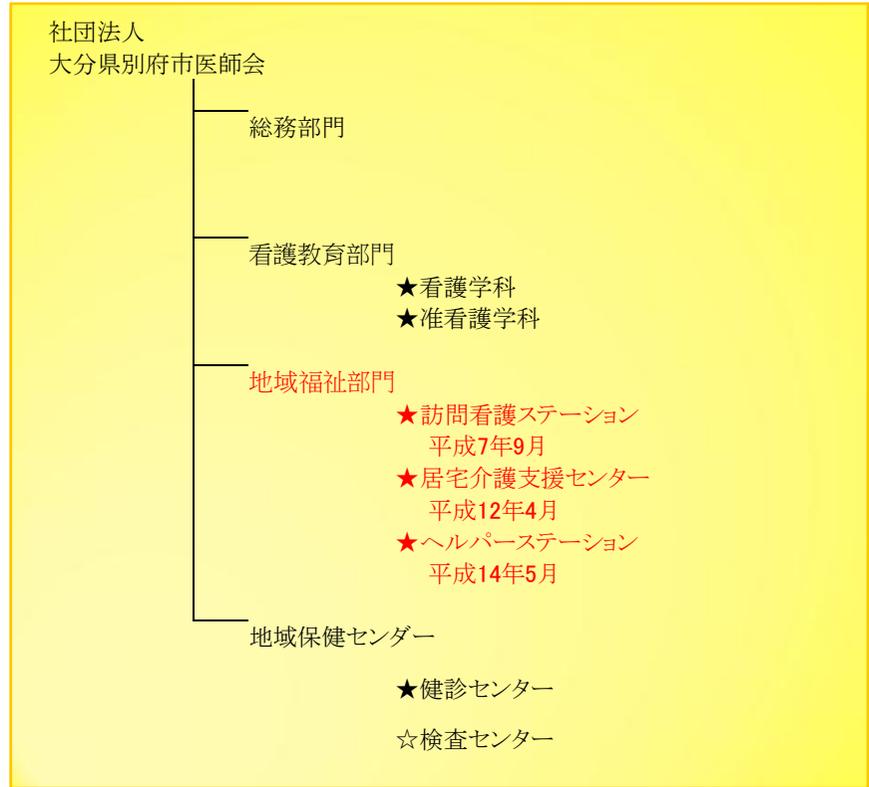
於)厚生労働省講堂 2013, 3, 23,(土)

別府市医師会・別府市医師会訪問看護ステーション

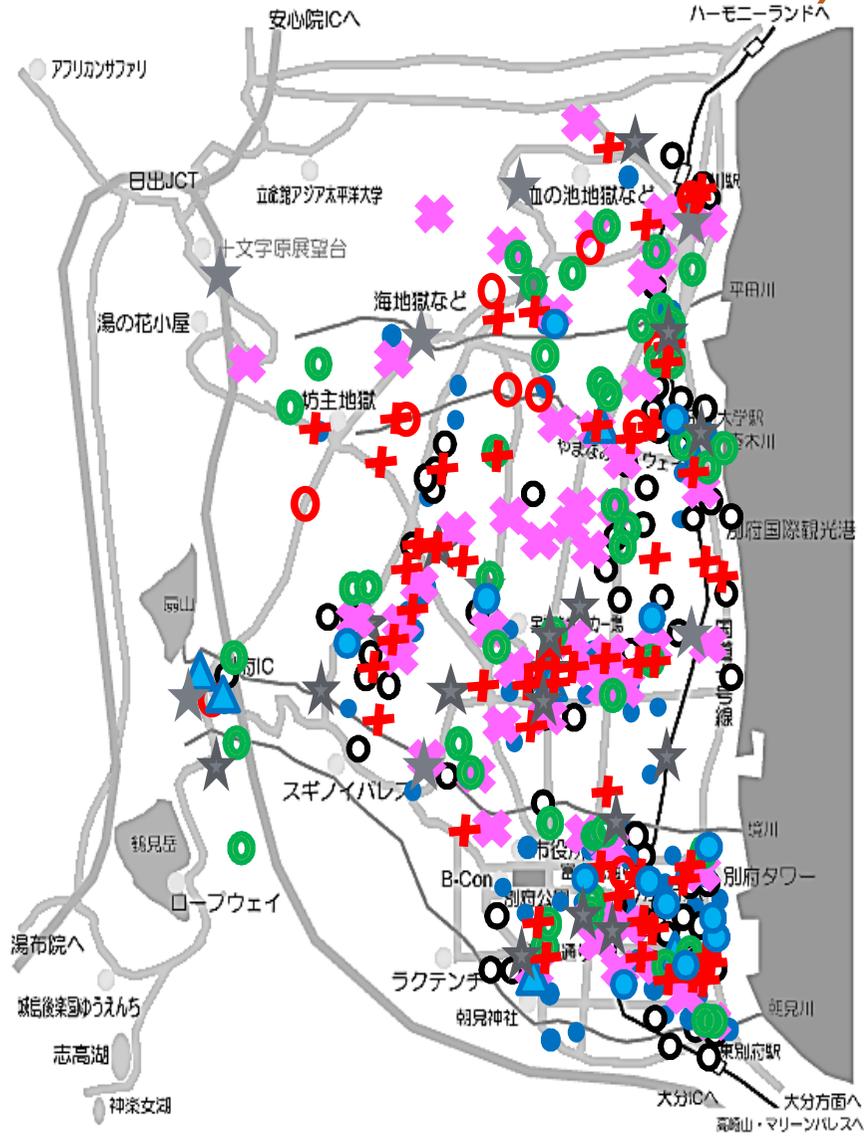
安東いつ子 (訪問看護認定看護師)



大分県別府市・施設の概要



地域医療・介護資源状況



- ★世帯数 59,251
 - ★人口 120,259 (男: 54,952 女: 65,307)
 - ★外国人 4,405
 - ★65歳以上 34,125 高齢化率: 28.4%
- 別府市内事業所一覧・介護事業所

表1-1 医療機関 別府市

医療機関	件数	病床数
・病院	26	3851
・有床診療所	45	741
・無床診療所	61	-
合計	132	4592

表1-2 介護事業所等

事業所	別府	全国
居宅介護支援事業所	46	32,665
地域包括支援センター	7	4,065
訪問看護ステーション	12	5,903
ヘルパーステーション	48	26,889
通所リハビリ	14	6,599
通所介護	32	26,028
訪問入浴サービス	3	2,431
短期入所療養・生活	16	11,511
ケアハウス	8	1,718
福祉用具	4	7,136

別府市医師会・訪問看護ステーションの 在宅医療体制の特徴と主な取組み

公益法人として地域の不特定多数の方の利益のための活動

医師会立の病院、施設がない、地域を1つの単位ととらえ、連携拠点事業を展開している

医師会員が協力的で同じ目的で活動している行政等をはじめ、多職種との協力が得やすい

体制である 月単位で各連絡会を開催している
医師と医師、多職種間のコーディネートの役割をしている

既に在宅医療連携事業を実践し継続

- ・市内の訪問看護ST連絡協議会事務局活動
- ・三師会合同役員会(医科・歯科・薬剤師会)
- ・在宅看護研修会 ・訪問介護職員研修会
- ・病棟看護師の訪問看護ST実習受け入れ
- ・医療圏の郡市医師会合同会議、懇談会
- ・主治医と地域包括支援センターとの情報交換会
- ・地域ケア連携システム会議
- ・地域住民への啓発活動(講話等) ・その他
- ・ITC(ゆのはなメディネット・ゆけむり医療ネット)

- ・拠点事業推進委員会設置、開催
- ・地域ケア連携システム会議開催
- ・あじさいネット研究会参加
- ・訪問看護ST連絡協議会開催
- ・在宅看護研修会開催
- ・訪問介護事業所管理者会議開催
- ・居宅介護事業所管理者会議開催
- ・在宅医療Drネットワーク検討会開催
- ・看護の地域ネットワーク推進会議出席
- ・がん在宅支援検討会出席
- ・学術集会等シンポジストとして出席
- ・講義・講演活動
- ・多職種合同研修会開催
- ・地域包括ケア会議にオブザーバー出席
- ・NICUからの在宅移行と母子支援の推進
- ・防災マップ及び災害時の連携マニュアル作成
- ・連携拠点事業リーフレット作成、市報と配布
- ・がん在宅医療推進フォーラムin別府を開催
- ・在宅医療連携交流会、名刺交換会開催

各種会議 (連携拠点事業推進委員会・地域ケア連携システム会議・各種管理者会議)

委員所属	委員数
大分県医師会	2名
別府市医師会	2名
大分県医療施策課	2名
別府市高齢者福祉課	1名
地域包括支援センター (拠点事業事務局)	1名 (4名)
計	8名



介護職員管理者会議研修会(痰の吸引・ストーマ装具交換)



地域ケア連携システム会議 職種

医師	理学療法士
歯科医師	MSW
薬剤師	退院調整Ns
訪問看護師	病棟看護師長
ケアマネ	医療機関Ns
介護福祉士	包括支援センター 3職種
歯科衛生士	その他

訪問看護ステーション管理者会議

居宅介護支援センター管理者会議



診察所の医師の24時間326日対応の負担

診察、訪問診療の多忙な中、相談・連携をする時間確保が困難

在宅医療Drチームづくり、連携拠点が行うコーディネート

- ・アンケート調査
- ・在宅医療(Dr)ネットワーク検討会
- ・コーディネート活動
- ・在宅医療 Dr登録検討
- ・施設から在宅移行
- ・市内基幹病院から在宅移行
- ・県外から退院し在宅移行
- ・直接、患者家族からの依頼



市外の基幹病院から退院患者の在宅支援
合同カンファレンス（ターミナル期）



在宅医療従事者の負担軽減 とスキルアップ・質の担保

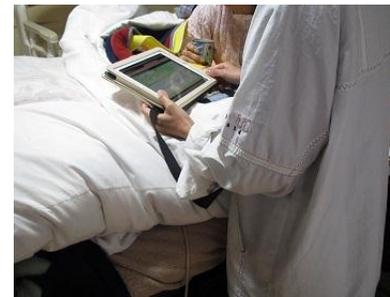
チーム医療提供のための効果的な情報提供体制整備

ITCを活用した情報共有整備

- ゆけむり医療ネットの活用し、基幹病院と診療所の医師の情報共有
- 緊急時のスムーズな連携の情報提供・共有体制
- 動画により手技の確認と共有



iPadを使用し訪問時の様子がリアルタイムに
診療所と訪問看護ステーションへ



年齢・疾病を問わず在宅療養支援体制の構築

NICUからの在宅移行支援と母子支援体制の構築

- ・病院との連携強化(アウトリーチ)情報交換
- ・NICUへ事前訪問 処置時間に合わせて
- ・退院へ向けて担当者会議 ・保健所等と連携
- ・試験外出、試験外泊時に自宅訪問(環境整備)
- ・医療機器取扱い所内研修
- ・退院後近医小児科へ同行受診
- ・訪問看護開始
- ・その他



- ・Drヒューマンネットワーク検討会
- ・在宅医療推進フォーラム
- ・多職種合同研修会

がん在宅支援フォーラム
IN 別府



多職種合同研修会



災害時の対応連携マニュアル、防災マップ作成

アウトリーチ、地域住民へ在宅医療啓発活動

- ・別府市は大分県東部のほぼ中央に位置
- ・北部及び南部は断層活動により東西を横切るように短い断層が多数分布
- ・市街地はそれら断層に挟まれ、窪んだ地形に立地

災害時連携マニュアル・防災マップ作成

- ・各職種連絡会で地区別にマップ作成
- ・担当地区を決め、多職種を地区に配置
- ・医師会、薬剤師会、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援事業所、その他関係機関
- ・社会福祉協議会はボランティア担当



- ・在宅療養(看取り)に対し経験がなく、不安がある
- ・介護力不足
- ・在宅療養より病院志向が強い
- ・在宅療養の知識取得の機会が少ない



- ・医師Dr、病院Nsの地域医療に対する認識不足
- ・地域医療、社会資源についての啓蒙不足

- ・在宅医療連携ガイドの配布
- ・アウトリーチ
- ・講義、講演による広報
- ・病棟Nsの訪問看護ステーション実習受け入れ



大分県 3ヶ所の在宅医療連携拠点事業所の情報交換会

北九州ブロック発表会、意見交換会

県内3事業所、情報交換会



出席者

- ・福祉保健企画
- ・医療政策課
- ・高齢者福祉課
- ・東部保健所
- ・中部保健所
- ・連携拠点

3事業所

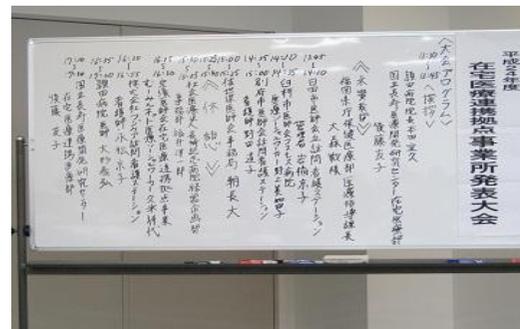
行政 11名
拠点 10名

拠点事業所、北九州ブロック発表大会

2013/01/20(日)JR博多シティ会議室

・福岡3 ・長崎2 ・大分3 8拠点事業所

大分県 3拠点事業所の発表



地域における 包括的かつ継続的な 在宅医療・福祉の提供体制の構築

交流会・名刺交換会、シンポジウム、合同研修会等で
「顔のみえる関係づくり」を日頃からしておく

チーム医療提供の為に、ゆけむり医療ネット等情報を
共有できる体制の整備

サービスの質の向上と担保のため、各種研修会を
定期的に行いスキル**up**を図っておく

医療処置の多い、療養者が在宅に移行するとき
必要に応じたケアチームが即 組める体制の構築





地域医療連携実務者の皆さんです



ありがとうございました

